

おれおれ詐欺にご注意！

息子や孫になりすまし、交通事故などを装い多額のお金が必要になったと高齢者宅に電話をかけて現金を銀行口座などに振り込ませだまし取る、通称「おれおれ詐欺」が頻発しています。この電話は町内の家庭にもかかっていますので十分注意してください。

（※おれおれ詐欺は被害が急に増加し、全国で10月の1ヵ月間だけで1,000件以上も発生し、今年に入ってから被害額は22億6,000万円以上にのぼっています。）



【主な手口】

- ◎息子や孫になりすまし、交通事故や女性関係、借金の返済などでお金が必要なので、口座に振り込んでくれという。
- ◎「おれ、おれ」「私だけど、誰かわかる」などと言う。（事前に名前などを調べている場合もあります。）
- ◎「両親には連絡しないでくれ」などといい、発覚を遅らせる。
- ◎2名または3名が連携して、事故当事者を装ったケースなど、臨場感や緊迫感を出し巧妙化している。

【主な対策】

- ◎自分から名乗らないようにしましょう。
- ◎これまでほとんど連絡してこなかったような孫などが、非常時だからと急に連絡してくるとは思えません。本当に本人かどうか必ず疑ってかかるようにしましょう。
- ◎お金を振り込む前に、必ず本人の両親や親戚に相談をして安否を確認しましょう。
- ◎不審に思ったら警察に連絡しましょう。

※被害にあった高齢者は、まったく疑うことなくお金を振り込んでいます。また2回、3回に分けてだまされる例もあります。

町役場庁舎 建設について

〔現在までの経緯〕

○昭和29年の3村合併時には、現庁舎はまだまだ旧永野村役場が使われていました。しばらくして町議会に役場庁舎建設委員会が設置され、昭和32年に求名広橋に新庁舎を造ることが決定。これを受け本館が昭和33年竣工。また庁舎新館が昭和52年に竣工しました。その後昭和62年に本館の増築がおこなわれました。○過去3回（昭和43年えびの地震・平成9年鹿児島県北部地震2回）の大地震を受け、建物に亀裂が入っていたため、平成13年7月に耐震診断調査をおこないました。その結果、補強等もできないぐらいの危険な建物であり、今後地震が発生した場合、被害が発生する可能性が高いとされています。○庁舎の利用については、薩摩東部地区合併協議会で、総合支所方式を採用することになったため、今後も庁舎は支

所として活用していきます。

◀老朽化が進む役場庁舎



〔状況報告〕

（議会）

全員協議会の中で、現況および建設計画の説明をおこない、建設について議員全員の了解がなされました。

（町役場庁舎建設審議会）

建築の是非や建築する場合の内容について諮問されました。

本年11月までに2回の審議会が開催され、その結果、庁舎の危険性や合併後の庁舎利用等を考慮し、建築は必要との答申をいただきました。

今後は、合併による職員数の減や建築費等について審議をおこなっていきます。